

熱田小児科クリニック掲示板

6月のテーマ

『アデノウイルスについて』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

アデノウイルスとは…

一年を通して感染する可能性の高いウイルスです。呼吸器系の症状（喉や肺）、眼症状（結膜）、消化器症状などがあり、アデノウイルスの型により症状が違います。

感染経路は、便などの排泄物、飛沫・接触感染などがあり、感染力の高いウイルスです。



症状は…

- ・咽頭炎→喉が赤く腫れ、白い膿がつくこともあります。39℃以上の高熱が3～5日間続くことがあります。
- ・咽頭結膜熱（プール熱）→夏に流行します。目の充血、喉の痛み・腫れ、高熱（38～40℃）が5日間続きます。（結膜炎と発熱の症状が一緒に出ます。）
- ・流行性結膜炎→発熱、目の充血、眼脂、まぶたが腫れて激しい痛みやかゆみがあります。
- ・胃腸炎（一年中あります）発熱、下痢、嘔吐

治療は…

- ・このウイルスに対する抗ウイルス剤はありません。
- ・対症療法（症状に合わせた薬）になります。
- ・安静にし、脱水にならないように、こまめに水分補給をすることが大切です。

感染予防について

特に乳幼児は、免疫がつきにくく、何度も感染することがあります。

- ・手洗いを徹底しましょう。（感染力が強く手や身の回りの清潔も心掛けましょう）
- ・完全に治るまでは園や学校は休み、兄弟との接触も出来るだけ避けてください。
- ・熱が下がっても便には何日も（10日～2週間）ウイルスが含まれるので、処理には十分注意しましょう。
- ・患児とのタオルの共用は絶対にしないで下さい。